

**令和8年度
学校推薦型選抜**

**看護学科
小論文**

問題・出題の意図・採点評価基準

令和7年11月22日

高知県立大学

問 「普通であること」が人々にもたらす意味について、あなたはどのように考えますか。以下の文章も参考にして、800字以内で述べてください。

（配点 300 点）

「普通の人間」とは、いったい誰のことを指しているのだろうか。

先に結論を言えば、「普通の人間」など、どこにもいない。一人一人が異なった人生を送っている毎日があるだけで、そこには他者との親密な関係もあるし、葛藤もある。軋轢もあるだろうし、なんとも言いがたい「生きづらさ」もあるだろう。差別問題から距離をとろうと躍起になったとしても、その人の日常には、さまざまな差別や排除が生起してしまうのである。

そして「普通であること」の権力は、こうした日常の私たちの暮らしのなかで起こる、さまざまな「生きる手がかり」「生き方を見直すきっかけ」を隠蔽してしまうのだ。

自分が、とても「普通に生きている」と実感するとき、実は、こうした「手がかり」「きっかけ」の兆しを見失い、「いま、ここ」で自分を見直すこともなく、「普通」に生かされてしまっているだけではないだろうか。

<出典：好井裕明『「あたりまえ」を疑う社会学 質的調査のセンス』光文社、2006年>

<出題の意図>

「普通であること」は、人々にとってあたりまえであるという共通認識を示す一方で、状況や時代の変化、個人の主観にも依存し、その意味は非常にあいまいである。この設問により「普通であること」が人々にもたらす意味に関する理解力、多面的に捉える能力、自分の意見を論理的に記述する能力をみる。

<採点評価基準>

「普通であること」が人々にもたらす意味として、あたりまえの状態や同じであることの安心感、「普通であること」とそうでないものを区別し普通でないものを排除するリスクなど、自分の考えが述べられているかを思考力・判断力の観点から評価する。